

Cure and Care
communication

第93号

コミュニケーション

発行所 〒731-5142 広島市佐伯区坪井三丁目818-1
Tel.082-923-8333(代) <http://www.pia-gr.or.jp/>



ナカムラ病院

介護老人保健施設 まいえ

医療法人ピーアイエー

グループホーム つばい



特別養護老人ホーム

陽光の家

通所介護事業所

訪問介護事業所

居宅介護支援事業所

理事長就任あいさつ

医療法人ピーアイエー

理事長 中村 友美

この度、医療法人ピーアイエー理事長に就任いたしました中村友美でございます。どうぞよろしくお願いたします。

さて、ご挨拶を兼ねまして当法人の歴史を振り返ってみたいと思います。

当法人は昭和五十三年十二月に前身の中村病院として開設いたしました。開設者はわたくしの父である前理事長の中村英雄。当時、高齢化社会と言う言葉はまだ馴染みがなく、一方で核家族化が進む中、寝たきりや認知症のある高齢者を家庭でケアするのは大変な負担でありました。

本人や家族にとって負担のない安心な誰もが迎える終末期を迎える場を作るため、父は病院開設を決めたのですが、周囲の方の理解を得るのは大変なことだったと言います。

近隣の方は『姥捨て山』という噂を一度は耳にされたことがあるかもしれませんが。これは、当時の父が入院相談に来られた家族の方

に必ず使う言葉でした。子供や嫁が家で親を看取るのが当然であった時代から、徐々に家族の在り方が変化していった頃。親を他人の手で委ねることへの覚悟と理解をどうぞしっかりと持ったうえで入院させてください、という父なりのご家族へのメッセージでもあったのですが、いつしかその言葉のインパクトだけが独り歩きしてしまい、病院本来の理念や父の思いが伝わらず、『あそこに行ったら死ぬまで帰ってこれない』という噂に繋がっていったのは残念なことでした。最近になって『ナカムラは昔とは変わってイメージが良くなつたよ』とおっしゃっていたことが増え、それは有難いことではあるのですが、反面、少し寂しい気が致します。移りゆく時代の中、我々の立ち位置は昔から父の抱いた理念のまま、何も変わってはいないのですから。

父はこの観音地区に初めてやってきたとき、高台から五日市の街並みと瀬戸内海を見下ろし、その

素晴らしい景色に心奪われ、この地での開業を決めたようです。

病院が完成した当時、私はまだ一歳を過ぎたばかりの赤ん坊でしたが、父は非常に忙しくしていましたが、娘の私との時間も大切にしてくれました。私は間近で、そんな父の現場における思い、やさしさ、厳しさをずっと見て聞いて感じておりました。

私自身はまだ経営者としても若輩者で、誇るべき経歴もありません。あるのはただ、故郷であるこの地への想い、そして父から引き継いだ、組織への愛情と理念だけです。

まだまだ父にはあらゆる意味で遠く及びませんが、私らしく、私なりの視点で、皆さまに助けていただきながら、成長していきたいと思っております。

今後とものご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。



特別養護老人ホーム 陽光の家

施設長就任あいさつ



このたび、陽光

の家の施設長に就任するにあたり、

中村英雄先生をはじめ、初代吉崎

施設長、斎藤施設長、天田施設長と三代にわたつての歴代施設長の多大なる功績と約三十年の歴史を考えますと、私自身、身の引き締まる思いと大変な重責をひしひしと感じています。前理事長 中村英雄先生におかれましては、三十年前に一早く社会的入院を日本の社会的な問題として捉えられ、地域包括ケアシステム

の先駆けとなる生活の場「住まい」としての施設、三宅・坪井の地元根ざした地域により開かれた施設、特別養護老人ホーム陽光の家を社会的使命として佐伯区にごくよりも一番に開設していただきました。

前任の天田猛施設長につきましては、入職以来、福祉・高齢者介護のイロハは勿論のこと、社会福祉法人としての特養の「あるべき姿」を常に考えて事業を展開していくよう施設・在宅サービスの提供について身をもって、職員一人一人に教えて

くださいました。

中村英雄先生はじめピーアイエーグループ、歴代施設長、数多くの入所者さま、利用者さま、ご家族、地域住民の方々、共に汗をかいて働いてきた職員、多くの関係者の方々を支えられて今の陽光の家があることを今切実に痛感し、感謝の気持ちで一杯です。

法人の基本方針にもあります認知症ケアサービスの質の向上・重度化に対応した医療的ケア、終末期、看取り態勢の整備・社会福祉法人としての地域連携、地域貢献を推進してまいります。また理念に掲げてあります『幸齢社会』の実現に向けて、ピーアイエーグループと手と手をとつて、幸齢社会創造業として陽光の家職員一同、業務に邁進してまいります。平成とともに歩んできた約三十年の歴史に因りて来られた全ての方々への感謝の気持ちで、今後の陽光の家のさらなる発展と事業継続のためにも全身全霊で施設運営に打ち込んでまいります。

特別養護老人ホーム 陽光の家

施設長 松井 誠



四月二十一日ナカムラ病院で映画「オケ老人」を拝見しました。

ある高校に赴任してきた若い女性教師。学生時代からオーケストラでバイオリンを弾いていた彼女は、地元の文化会館で聴いたアマチュアオーケストラの演奏に感動して入団を決意します。

ところがこの町にはアマチュアオーケストラが二つあって、彼女はまちがって老人ばかりのヘタクソオーケストラに入ってしまう。若者の入団を喜ぶオケ老人たちに勘違いだと言いつつ、せななくなった彼女は、成りゆきから指揮者をつとめることになり、素人指揮者の彼女には教え方がわからず無我夢中でやつても全くうまくいきません。でもそんな一生懸命頑張る彼女の姿を見てオケ老人たちも頑張り、応援してくれる人も増え、最後

には立派なオーケストラに成長する！という感動的なお話です。

ぼくも広島に來させていたから、アマチュアの方達とよく一緒に演奏したりアマチュアオーケストラの指導もさせていたたので、みなさんの音楽にかける情熱と音楽を楽しむ姿勢と現場の混乱はよく知っております！そしてあるアマチュアのチェロ老人の一言がぼくの音楽観を一八〇度変えてしまいました。「あー今日もちゃんと弾けなかったけど、楽しかったなー」!!!プロにとつて音楽は完璧に演奏できるよう精進努力する苦しいもの。なのにこの人たちはちゃんと弾けなくても楽しめるんだ！ 恩師ユーディー・メニエーイン先生がよく仰っていました。「アマチュアの人たちと一緒に演奏しなさい。彼らの情熱と音楽を楽しむ生き方からたくさんものものを学べるでしょう」

元広響コンサートマスター 上野 眞樹



上映会では上野先生がバイオリン演奏をしてくださいました

シリーズ全4回

第2回

支え合いの地域づくりを進めるために

要介護リスクが高くなる75歳以上の後期高齢者人口は、2025年(平成37年)に、団塊の世代が75歳を迎え、日本社会は超高齢社会の中で、在宅生活を支えるための生活支援のニーズはますます増加していきます。

平成18年度の介護予防事業スタート以来、全体的には後期高齢者の伸び以上に要支援者が増え、要介護者に比べると多くの場合、ゴミ出しなど互助のような柔軟な生活支援が適切な場合が多く、介護保険でのサービスでは、範囲が大きすぎて、本人のできることで代わりになってしまう、支援の必要がない部分までサービスが及ぶこともあります。例えば、囲碁を打つことを楽しみにしていた高齢者が、足を骨折したことを契機に、外出の機会が減った場合、必要な支援は、碁会所までの移動手段の提供だが、介護サービスでは移動手段の提供がないため、最も近いサービスはデイサービスの利用となってしまい、これが、本人らしい生活に戻るための支援といえるかが問題となります。

このように、旧来の介護予防マネジメントは、介護保険サービスに限定されている為、「足りない資源」=「介護保険サービス」という発想で、介護保険を利用者に当てはめるマネジメントをしていましたが、新しい介護予防マネジメントでは、自助・互助という日常の生活を前提としながら、自らの努力や地域の支え合いだけでは困難な部分を介護保険や多様な資源の組み合わせによるマネジメントをしていきます。そうした中で、地域に足りない支援やサポートの必要性が見えてきた時、様々な地域の主体の協力を得ながら、本人の「したい」「できるようになりたい」との思いを具体的

に実現するため、地域住民の積極的な参加に基づく協同を目指し、助け合いの仕組みを地域の中で活性化していくことが地域づくりにつながる重要な意味を持つと考えます。

第6期広島市高齢者施策推進プランの重点施策の一つにある「高齢者地域支え合い事業」を今年4月から、広島市内の全包括支援センターで行っていくことになりました。

当包括支援センターでは、4月に観音西地区で、支え合い事業の運営推進委員会発足に向けて「観西あじさいネット」と称して、社会福祉協議会・民生委員・町内会などの各協力団体が集まり、支え合いのまちづくりに向けて具体的な体制づくりに取り組む為の準備委員会が作られました。観西あじさいネットの具体的な内容としては、チラシを配布し、一人暮らしなどで見守りを希望される方が、チラシにある申込書を包括支援センターなどに提出します。その後、包括支援センター職員がご自宅へ訪問し、見守り協力員(サポーター)になっていただける方などの状況を確認し、登録手続きを行います。見守り協力員は、あいさつや、気軽な声掛けなど、普段からご本人の様子を気にかけていただき、心配な様子があれば、各協力団体や包括支援センターなどへ連絡していただくようお願いしており、特別な資格などはいりません。

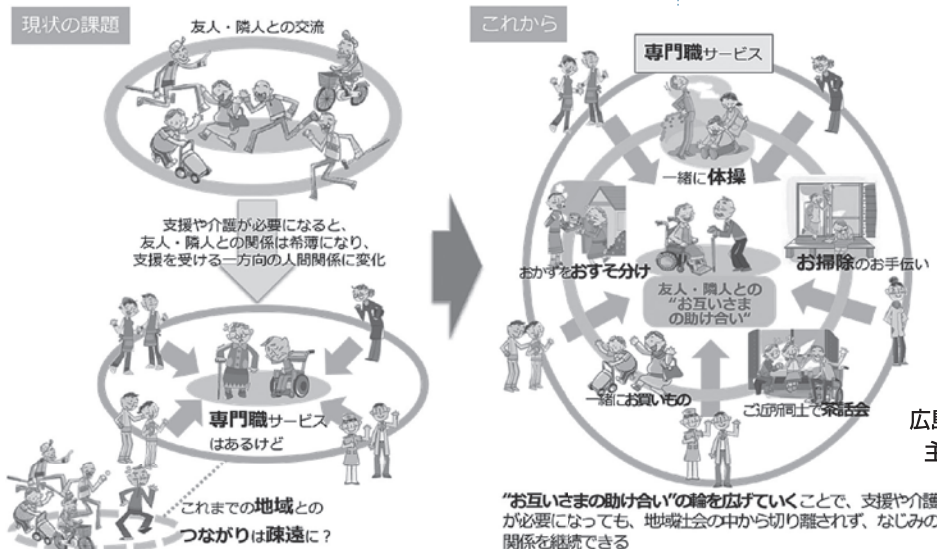
声掛け、見守りは善意の助け合い(ボランティア)であり、無理のない範囲で協力をお願いしています。こうした見守り協力員のサポートにより、何か困りごとがあった時には、各関係団体と情報を共有し、支援方法を相談します。例えば、家族が遠くにおられ、ご本人の緊急時、ご家族や医療機

関への連絡調整や情報提供を行うなど、その方に必要な支援を介護保険に限定せず、ニーズに応じた対応を一緒に考えていきます。

こうした困りごとについて地域で話し合いながら資源の調整や実際に行動し、これからも、多様で柔軟な生活支援や助け合いの基盤づくりを一緒に取り組んでいきます。

広島市城山・五日市観音地域包括支援センター
主任介護支援専門員(支え合い事業担当)

横井 澄子



陽光の家通信

【開設29周年】

陽光の家は、五月二十日(土)開設二十九周年を迎え開設日に開設記念行事を開催することができました。また、当日は、丁度土曜日ということもあり入所さまのご家族さまにも多数のご参加があり大変盛り上がりました。

みなさまに感謝の挨拶の後に、音楽ユニット『げんきなこ』の河中さまご夫妻にお越しいただきご主人さまのげんきさん、奥様のきなこさんに生歌を披露していただきました。お二人はパーキンソン病友の会広島県支部でご活躍され、げんきさんも自らパーキンソン病と闘っています。パソコンで作詞・作曲されお二人でオリジナ



特別養護老人ホーム 陽光の家
生活相談員 佐々木雄治

ルの曲を演奏してくださいました。とてもあたたかな雰囲気です。楽しく過ごすことができました。

その後は、おやつバイキングをさせていただき、入所の方々はご家族と一緒に過ごす時間となりました。職員もその光景を見てご本人に寄り添ったケアができるように今後も務めて参りたいと思いをしました。

来年、陽光の家は三十周年という大きな節目を迎えます。来年も良き開設記念日を迎えられるように、地域に根ざした施設を目指して頑張つて参ります。

歯科の扉

～義歯(入れ歯)の材料について～

みなさんは義歯が何でできているかご存知ですか？
主な材料はレジンという名前のプラスチックです。その他は金銀パラジウム合金やコバルトクロムなどの金属類が使用されています。それぞれ患者さまの状態やご要望に応じて、歯科医師が義歯の設計デザインを行い、歯科技工士が作製します。

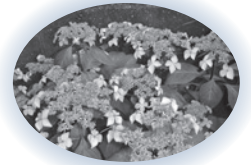
義歯の床部分が金属の物は、違和感が少ないとされていますが、医療保険が使用できず、価格が高くなります。保険の義歯と比べて、一概にどちらが良いという正解はありません。プラスチックも金属も長年、お口の中で唾液や食べ物にさらされ、徐々に劣化していきますので、定期的に受診し専門的な洗浄や調整が必要です。

患者さま各々に適した義歯をご使用いただくためにも、かかりつけの歯科医師、歯科衛生士に相談してみてください。

歯科医師 山脇加奈子

つばいこぼれ話

つばいの中庭散歩の巻



ベランダから見える中庭に、今年も紫陽花が咲きました。

入居者の皆さまが、そばで見たいと希望され、ある日の夕方中庭に散歩に行ってきました。

見頃を迎えた青い紫陽花のそばに近付くと「ああ、きれいだねえ」「私みたい」と冗談をまじえな

がら微笑まれていました。足元には白詰草咲き乱れ、「昔は四葉のクローバーを見つけるとは、お願い事をしていただけのよ」「私は花を編んでカチューシャにしていたのよ」と会話が盛り上がりました。

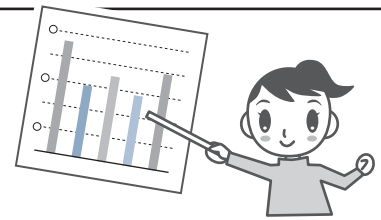
梅雨前のさわやかなひと時を過ごされました。

グループホーム つばい
介護職 西田 洋子



平成28年度

利 用 実 績



昨年度の、各施設における実績をご報告いたします。

「病床利用率」については、28年度1年間を通してのデータです。

「要介護度分布」および「平均介護度」は28年度1年間の平均を示しております。

病床利用率

ナカムラ病院

94%

まいえ

(介護老人保健施設)

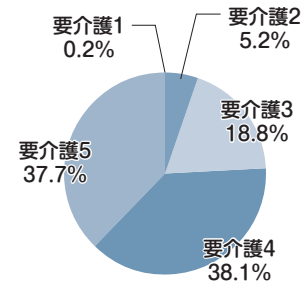
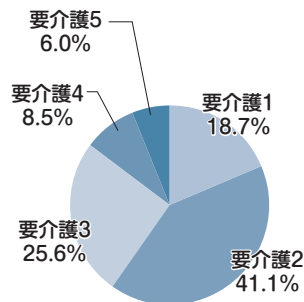
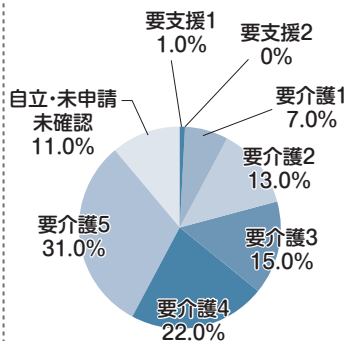
92%

陽光の家

(介護老人福祉施設)

97.5%

要介護度分布



平均介護度

B1・B3・B4病棟 4.39
(介護療養型医療施設)

2.42

4.10

全国の介護保険3施設の平均介護度は?

介護療養型医療施設 ▶ 4.39
介護老人保健施設 ▶ 3.28 (厚生労働省 H26年10月1日)
介護老人福祉施設 ▶ 3.85

B2病棟 4.23
(医療保健療養病棟)

A3・B5・B6・B7病棟 2.94
(認知症治療病棟)

認知症治療病棟であるこの4病棟については、必ずしも介護度が介助量を反映しているとはいえません。

心理検査について

当院では「長谷川式簡易認知評価スケール」をはじめとする神経心理検査(認知機能検査)を行っております。複雑な認知機能のどの部分に困難が生じているか、どういった能力は保たれているか明らかにすることにより、その人らしく生活できる環境を整える一助としています。詳しくは臨床心理士までお問い合わせください。

(H28年度 実習生受け入れ実績)

昨年もナカムラ病院・介護老人保健施設まいえ・特別養護老人ホーム陽光の家では、さまざまな職種の実習生を受け入れました。詳しい受け入れ状況は下の表のとおりです。

現場で学べない多くのことを吸収し、将来に活かして頂きたいと思えます。

●ナカムラ病院・まいえ

(五十音順)

職種	学校名	人数(名)	職種	学校名	人数(名)
看護師	広島文化学園大学	148	言語聴覚士	広島国際大学	1
	山陽看護専門学校	22	管理栄養士	広島女学院大学	4
理学療法士	広島都市学園大学	1		比治山大学	4
作業療法士	県立広島大学	2	栄養士	鈴峯女子短期大学	4
	広島都市学園大学	1		山陽女子短期大学	3
	広島大学	1	精神保健福祉士	県立広島大学	1

●陽光の家

(五十音順)

職種	学校名	人数(名)
社会福祉士	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校	2
	IGL医療福祉専門学校	2
介護福祉士	トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校	1
	IGL医療福祉専門学校	1



畑通信



五月三十日の午後、二名の患者さまとサツマイモの苗を植え付けました。お二人とも、畑作業を日課や趣味として行っていた経験がある方です。私たちは場所と苗の準備だけ行い、作業していただきました。お一人は手際よく植え付け、お一人は率先して水をやり、自然と役割分担ができて、和やかな作業の時間になりました。お互いを尊重し合うように笑い合うお二

人の姿がとても微笑ましく、次回の活動が楽しみになる一瞬でした。この苗が豊作となるように、育てていきたいと思えます。
ナカムラ病院 リハビリテーション科
作業療法士 山元 雅子



スタッフインタビュー



毎回シリーズでお届けしている各部署責任者へのインタビュー。今回は山根孝之 A3看護科長です。

- Q. 看護師を目指されたきっかけを教えてください。
- A. 社会人生活の中で何か資格を活かした仕事をしたいと考えるようになって、周囲の勧めもあり看護学校に入りました。
- Q. 仕事にやりがいを感じるのとはどのようなときですか。

- A. 自らを含め、病棟のスタッフが心身共に健康に働いているときです。
- Q. リフレッシュ法は何ですか。
- A. 釣りや写真でのんびりします。
- Q. 今一番楽しみなことは何ですか。
- A. ソフトボールの練習です。
- Q. 今後の目標を教えてください。
- A. スタッフが働きやすく、やりがいを持って業務できる環境を少しずつ作ってほしいです。

ありがとうございます。
これから頑張りたいです。

いきいき行事ダイジェスト

4月

- お花見(B6)
- お花見昼食会(にぎや家)
- お花見&外食(つばい)
- お花見(B5)
- お花見会と誕生日会(まいえ2)
- 春です!桜を見に行こう(A3)
- 春を感じよう!(B7)
- フルーツバイキング(まいえ2)
- セラピードッグ(まいえ1)
- 大正琴演奏会(全体行事)
- 4月お誕生日会(まいえ1)
- 昼食バイキング(まいえ1)
- 陶芸教室(陽光の家)
- フラワーアレンジメント(陽光の家)
- 書道クラブ(陽光の家)
- 法話会「正順寺」(陽光の家)
- 慰問 大正琴(陽光の家)
- お花見外出(陽光の家)



5月

- 運動会紅白玉入れ(B7)
- カラオケ喫茶とお誕生日会(まいえ2)
- 休日を楽しもう♪フルーチェ作り(B6)
- 母の日のハンバーグ作り(にぎや家)
- 外食(つばい)
- 端午の節句(B5)
- ケーキバイキング(まいえ2)
- フルーツバイキング(A3)
- 春のお茶会(リハビリ)
- ケーキバイキング(まいえ1)
- 吹奏楽演奏会(全体行事)
- 5月、6月、合同誕生日会(まいえ1)
- 陶芸教室(陽光の家)
- フラワーアレンジメント(陽光の家)
- 書道クラブ(陽光の家)
- 法話会「浄土寺」(陽光の家)
- ケーキバイキング 慰問「げんきなこ」(陽光の家)



6月

- 映画上映会(B6)
- 6月誕生日会(まいえ1)
- ケーキバイキング(B5)
- 家族会(つばい)
- 父の日の運動会(にぎや家)
- 「何が出るかな!」サイコロゲームとお誕生日会(まいえ2)
- フルーツバイキング(B7)
- ケーキバイキング(まいえ1)
- 風船パレー大会(A3)
- 広島オペラアンサンブル演奏会(全体行事)
- 昼食バイキング(まいえ2)
- 法話会(リハビリ)
- 陶芸教室(陽光の家)
- フラワーアレンジメント(陽光の家)
- 書道クラブ(陽光の家)
- 法話会「光禅寺」(陽光の家)
- 慰問「爽り会」(陽光の家)



「あまんじやくとうりこひめ」
日本の民話を題材に、和服を着た演者という斬新なものでした。オペラといえば、とかく敷居の高い印象を受けますが、来場された患者さまは、馴染みの深い民話ということもあり、すぐに歌劇の世界へ引き込まれたご様子で、熱心に見入っておられました。

この日の演目は、
「あまんじやくとうりこひめ」
日本の民話を題材に、和服を着た演者という斬新なものでした。オペラといえば、とかく敷居の高い印象を受けますが、来場された患者さまは、馴染みの深い民話ということもあり、すぐに歌劇の世界へ引き込まれたご様子で、熱心に見入っておられました。

広島オペラアンサンブルの皆さまによる演奏会が、先頃六月二十四日(土)に行なわれました。地域にオペラ公演を根付かせる活動を、創立以来展開しておられる本格的なオペラ劇団の皆さまで、日頃の活動の一環としてこの度当院へお越しいただきました。



そして歌手の圧倒的な声量。「おおー」という歓声が、時折聞こえてくるなど、時間を経るごとに、会場はたいへんな熱気に包まれていきました。

いきいき委員では、これからも楽しく笑顔がこぼれるような行事を計画してまいります。

地域連携センター 崎内 奈緒



後期高齢者医療被保険者証をはじめとした保険証の更新時期となりました。

新しい被保険者証が順次お手元に届きます。保険証の有効期限や負担割合等の変更点が無いか確認をさせていただくため、新しい被保険者証を病院窓口へご提示していただきますよう、お願い致します。

事務部 医事課 秋嶋依里香



保険証提示のお願い!



認知症カフェ
サロン・ド・ファミリー
お飲物と美味しいお菓子をご用意してお待ちしています。

8/18(金) 14:00~17:00(出入り自由)
場所: ナカムラ病院 A棟2階 食堂内
参加無料 申込み不要 どなたでも参加できます

ミニ講話	活動	相談
今回のテーマは 認知症の特徴に合わせた 介護のポイント 14:45~15:15	認知症予防体操と レクリエーション 15:15~16:15	相談員による個別相談も 受け付けています

認知症カフェは、認知症についての理解を深めるカフェです。
毎月第3金曜日に開催しています。※臨時休業あり。お電話でお問い合わせ下さい。

医療法人ピーアイエーナカムラ病院 担当 地域連携センター 中村 ☎082-923-8333 (代表)

PIAギャラリー 平成29年 7月▶12月

今後の予定 ※展示内容は一部変更する場合があります。

展示場所	期間・内容
第一展示コーナー	7月29日▶9月28日 第15回ナカムラ病院等 利用者さま作品展 —今を生きる作品たち—
	10月上旬 ピーアイエー いけ花愛好会 花展
	10月中旬▶12月中旬 藤美会+高藤陶芸教室 作品展
第二展示コーナー	7月29日▶9月28日 第15回ナカムラ病院等 利用者さま作品展 —今を生きる作品たち—
	10月中旬▶12月中旬 広島市立大学芸術学部 学生有志作品展

★編集後記★

今年は五月ごろから真夏日になる日があり、過ごしやす季節が年々短くなってきたという感じがします。

この暑すぎる夏はいつまで続くのでしょうか…これだけ暑いと冷たいものばかりほしくなってきましたが、スタミナがつくものをしっかりと食べたり、夏ならではの楽しみを見つけて、残りの夏を乗り切りたいと思います。(N)



五月二十四日と二十五日の二日間、「春のお茶席」を開催しました。会場には季節の草花を色とりどりにあしらった、患者さまからは「いい匂い」「何ていう名前?」など明るい声がかれました。飲み込みが難しい患者さまにも食べやすいお菓子を用意し、田辺裕子先生による御手前と併せて多くの方々楽しんでいただけたと思います。



最後に、ボランティアの皆さまのご協力に深く感謝いたします。
リハビリテーション科

春のお茶席

